

11月定例自然観察会実施報告書

2022年11月16日

4班 竹上秀己

実施日	2022年11月13日(日)		
テーマ	ノジギク咲く須磨を満喫する		
コース	地下鉄妙法寺駅 ～ 横尾道 ～ 野路菊の丘 ～ 啓明学院前バス停 予定では、野路菊の丘から奥須磨公園・多井畑を経て北須磨団地バス停まで 歩くだったが途中から雨が激しくなり、野路菊の丘までとした。		
集 合	地下鉄妙法寺駅南の広場	9時30分	
解 散	啓明学院前バス停	11時30分	
参加者	ビジター15名 会員19名(うち4班15名) ビジターは3つの班に分ける。		

集合時間前に小雨が降り始める。寒冷前線が通過するので、一時的に雨が激しくなることを覚悟して出発する。

アキニレの果実の観察

歩き始めてすぐにアキニレが果実をつけている。アキニレの果実の観察が始まる。近くのイロハモミジやヌルデの紅葉が秋を感じさせる。



横尾小学校南歩道橋までは車道に沿った歩道歩きになるが、モミジバフウ・ケヤキ・イチョウ・ラクウショウ・ハナミズキ・サクラなどの紅葉が見られる。すでに道に散っているものもある。

歩道橋を渡り、トキワサンザシを観察する。今日のコースではよく似たタチバモドキも野路菊の丘付近で観察できる。

クヌギの観察

階段を上がると、トウカエデとクヌギの間の道を通る。ここでクヌギの1年目のドングリヤ虫こぶ(クヌギエダイガフシ・クヌギハケツボタマフシなど)を観察する。雨のため観察しにくい面も出てきたが、ビジターの方々は熱心。トウカエデもきれいに紅葉している。



クヌギの1年目のドングリ (ドングリの赤ちゃん)



クヌギの虫こぶ

上 クヌギエダイガフシ

下 クヌギハケツボタマフシ



クヌギを観察して少し進み、ジョロウグモを観察する。ジョロウグモは秋の代表的なクモで、ハイキングなどでもよく見る。体の色や巣のようすなどを観察する。

横尾道へ入ると、登り道になる。しばらくはシャリンバイ・トベラ・ウバメガシ・ハゼノキ・トウネズミモチなどの木々が多い。

ヤクシソウが黄色の花をつけている。

途中から植林されたウバメガシ林に変わる。ウバメガシもクヌギと同じくドングリは2年成。ここでもドングリの赤ちゃんを観察する。

ウバメガシ林の中の道



ウバメガシにもカシノナガキクイムシの被害が見られる。ウバメガシ林を抜け、小広場でホタルカズラを観察し、野路菊の丘へ下る二次林内でウバメガシ林と違う二次林のようすを観察する。

ノジギクと観察風景

野路菊の丘に到着。ノジギクは満開と言ってもよい。よかった。

雨が激しくなり、天気回復には時間がかかると思われ、ここで続行を断念、ノジギクの観察で終了とする。

